**第15課　主が治められる教会　2018/4/15**

◎ 賛美(一同) : 韓日29番、韓日265番

◎ 信仰告白(一同) : 使徒信条

◎ 御言葉朗読(一同) : Ⅱ歴代誌6章2-3節

◎ 本文朗読

◎ 主の祈り(一同) : 最後に

◎ 今日のマナ

ソロモンはダビデを継いで王位に上った後、7年間全ての努力と力を注いで神様の聖殿を建築しました。神様がその聖殿を喜んで受けられ、彼を大きく祝福されました。私たちの教会もソロモンの聖殿のように神様を喜ばせる教会になって、私たちの教会を通して子孫代々神様の祝福を溢れるように受けなくてはなりません。

**1. 神様が治められる場所(教会)**

ソロモンは聖殿を完成させ神様の契約の箱を聖殿に移すようになり、感謝と喜びが溢れました(Ⅱ歴代誌5:2)。この時、祭司長とレビ人はラッパを吹いて賛美し、契約の箱を至聖所に置きました。すると神様の栄光が臨みました(Ⅱ歴代誌5：13-14)。聖殿には雲が満ち、これは神様の臨在と栄光を現わします(民数記12：5)。

ソロモンは聖殿に臨まれた神様を賛美しながらこの聖殿が、神様が永遠に治められる場所だと告白しました(Ⅱ歴代誌6：2)。聖殿は神様が永遠に治められ、神様の栄光が現れる場所であり、神様の祝福が溢れ流れる神様の家です。

また、聖殿は神様がご自身を啓示し、神様の聖なる御名を置くために選んだ場所です(6：5-6)。だからイスラエルの人々に聖殿は人生の中心でした。彼らは季節ごとに集まって礼拝を捧げ、祈る時に聖殿に上っていくことに力を尽くし、聖殿に行けない状況の時は聖殿に向かって祈りました。旧約時代に聖殿を治められた神様は今、私たちを宮とし、私たちの中で聖霊によって治められます(Ⅰコリント3：16)

教会を宮という理由は聖徒たちがイエス様の御名によって集まった所に聖霊様が共におられるからです(マタイ18：20)。教会が教会らしくなるためには必ず聖霊の臨在がなくてはなりません。聖霊様が臨まれなければ、黄泉の権勢と戦い勝利することができません。

教会がどれほど良いプログラムを持っていても、聖霊様が共におられなければ生命力のない教会です。聖殿で礼拝を捧げる時、聖霊の臨在を感じ、聖霊の導きを受け、聖霊の力強い働きを体験する教会が、主が喜ばれるまことの教会です。

**2. まことの礼拝が捧げられる教会**

ソロモン聖殿には契約の箱と祭壇がありました。これは神様のみことばが宣べ伝えられ、血のいけにえが捧げられる礼拝があったことを意味します。従って今日にも教会で捧げられる礼拝には必ず神様のみことばとイエス様の十字架の血潮の恵みが溢れ流れなくてはなりません。

みことばを学び、人々と交わり、慈善事業をし、社会改革を主導することが教会の働きの一部ではありますが、教会の本質ではありません。教会の本質は一言で、神様との出会いです。礼拝を通してインマヌエルであられる主に出会い、主と霊的な交わりを成すこと、これが教会の核心的な存在理由です。神様はいつでもご自身の民から礼拝を受けることを願われます。そしてご自身の民に祝福を与え、恵みを与えるために待っておられます。

また礼拝の力は聖殿で宣言される神様のみことばと神様に捧げられる祈りによって現れます(Ⅱ歴代誌6：19-20)。神様の目と心はいつも聖殿にあります(Ⅱ歴代誌7：16)。ですから神様は聖殿に出て恵みを慕い求め、切に呼び叫んで捧げる祈りを聞かれ、答えられるのです(詩編3：4)。

したがって神様の聖殿である教会に出て、主の恵みを慕い求めて、心を尽くして呼び叫び祈ってください。何よりも神様の栄光のために、教会のために、主のしもべのために、隣人のために祈る聖徒になってください。そして礼拝を人生の優先順位になるようにすることで、礼拝の成功者になってください。そうすれば神様が私たちの人生を成功へと導かれるはずです。

**3. 罪の赦しとまことの癒しが溢れる教会**

聖殿は罪人が神様と出会う場所であり、赦しの恵みを受ける所です。また、たましいと肉体と環境が癒しを受けて回復し、神様の助けと祝福を受ける所です。この聖殿はイエス・キリストの類型です。私たちがイエス・キリストの功労と恵みに頼り悔い改める時、神様は私たちの全ての罪を赦して下さり攻撃と困難から抜け出す知恵と力を与えてくださいます。

また聖殿は神様が悔い改める聖徒の祈りを聞かれる場所です。神様に対して罪を犯していない人はこの世に一人もいません(Ⅱ歴代誌6：38)。全ての人はその本性が腐敗し堕落したので罪を犯すしかない弱い存在です。したがって人間はいつも神様の元に進み出て罪を言い表すことで罪の赦しの恵みを受けなくてはなりません。神様の聖殿はまさにその罪の赦しの恵みを受けることのできる神様の家です。

旧約時代には罪を犯すたびに、聖殿で祭司長を通して贖いのためのいけにえを捧げることで罪の赦しの恵みを受けることができました。しかし神様の子羊イエス・キリストは永遠ないけにえとしてご自身を一度捧げることで私たちの罪を全て赦し、私たちを完全に救われました。したがって私たちがイエス様の元に出て罪を言い表すならば、真実な主は罪を赦し、全ての不義から私たちを聖めてくださいます(Ⅰヨハネ1：9)。また、心の病、肉体の病も十字架の下に出て行くとき、癒されます。許された義人である私たちの心にも赦しが溢れるようになります。教会に入って悔い改める者はみな癒しが川の水のように溢れて、霊・魂・肉の全人的な癒しが現れ、心の中に平安が臨むようになります。

教会は神様が臨在される神様の永遠なる住まいです。私たちが聖殿に出て礼拝を捧げる時、神様は喜ばれ栄光を受けられます。心を注ぎ、願い、呼び叫ぶ祈りを聞いて、答えてくださいます。そして罪を悔い改める時、許され、癒されます。したがって教会中心の人生を生きることで全ての祈りと願いの答えを受ける祝福を受けてください。

◎マナの要約

<神様が治められる場所(教会)>

1.ソロモンは聖殿が神様が永遠に治められる場所だと告白しました。

2. 聖殿は神様がご自身を啓示されご自身の聖なる御名を置こうと選ばれた場所です。

3. 神様は今私たちを宮として、私たちの中に聖霊によって治められます。

<まことの礼拝が捧げられる教会>

1. 教会の礼拝には必ず神様のみことばと十字架に血潮の恵みがなくてはなりません。

2. 教会の本質は礼拝を通して神様に出会うことです。

3.教会に出て行って切に呼び叫ぶ時、神様が聞いて答えてくださいます。

<罪の赦しとまことの癒しが溢れる教会>

1. 教会は罪人が神様に出会う場所であり、赦しの恵みを受ける所です。

2.教会は神様が悔い改める聖徒の祈りを聞かれる場所です。

3. 教会に出て行き悔い改める者はみな全人的な癒しが起こり、心に平安が臨みます。

◎ 人生のマナ

<隣の人と挨拶>

1. 聖霊の臨在を慕い求めましょう。2. 礼拝を人生の優先順位に置きましょう。3.教会中心の生活をしましょう。

<祈り>

1. 教会の全ての礼拝が聖霊充満な礼拝となるようにしてくださいと祈りましょう。

2. 教会で捧げる礼拝の中で神様との深い出会いが成されるように祈りましょう。

3. 教会で捧げる礼拝の中で全ての病が癒される働きが起こるように祈りましょう。

<とりなしの祈り>

隣の人と祈りの課題を分かち合い、共に祈りましょう。